

## 21・老福連

# 第15回職員研究交流集会 in 宮城



「地域を支える福祉と私たちの役割  
～大震災から4年を経て～」

## 開催要綱

日時

2015年 11月7日(土)～9日(月)

会場

TKPガーデンシティ仙台 (アエル仙台 21階、30階)

参加費

3日間 10,000円 2日間 9,000円 1日間 7,000円  
1日目夜 交流会 9,000円 (場所:メルパルク仙台)

主催

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会(略称=21・老福連)

後援

宮城県 仙台市 宮城県社会福祉協議会 仙台市社会福祉協議会  
宮城県老人福祉施設協議会 仙台市老人福祉施設協議会  
NPO法人介護サービス非営利団体ネットワークみやぎ  
公益社団法人認知症の人と家族の会宮城県支部

## 参加の呼びかけ

### 全国の老人福祉施設関係者のみなさん

私たち「21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」(略称:21・老福連)は、実践交流と連携を目的とした老人福祉の連絡組織として、2002年6月に発足いたしました。発足にあたって、

介護保険の混乱と矛盾から高齢者を守る立場で、公的福祉の確立を目指すとともに、真の高齢者福祉、介護保険の在り方について実践も含めた意見交換を活発に行う

高齢者主体の援助実践、ケアの質、暮らしの内容を豊かにするため、「職員研究交流集会」を開催する

老人福祉の向上を目指す活動、社会保障を守る活動などを諸団体と共同、連携し、積極的に進める

これらを目的に掲げ、毎年「実践・交流・連携」を重ねてきました。

「介護の社会化」を理念に掲げ、介護保険制度が発足して15年が経過しました。この4月には介護保険制度・介護報酬の改定が行われました。今回の改定は、高齢者にとってはますます使いづらい介護保険制度となってしまうまいし、介護報酬のマイナス改定で、事業運営や人材確保はこれまで以上に困難なものになり、閉鎖・撤退を決めた事業所も出てきました。まさに「介護崩壊」の危機に直面しています。

今年は戦後70年の節目の年。国民誰でもが、平和にかつ幸福に暮らすことを保障している憲法に立ち返り、それぞれの地域の高齢者の願いを確認し合い、「地域を支える福祉と私たちの役割」を、東日本大震災の被災地である宮城県仙台市で、全国の皆さんと共に考え合いたいと思います。たくさんの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

### 日 時

2015年 11月 7日(土) 13:30~17:30 交流会 19:00~  
8日(日) 9:30~16:00  
9日(月) 9:30~12:10

### 会 場

11月7日(土) TKPガーデンシティ仙台(アエル21階)  
8日(日) " (アエル21階、30階)  
9日(月) " (アエル30階)

### 参加費

3日間 10,000円 2日間 9,000円 1日間 7,000円  
1日目夜 交流会 9,000円

### 主 催

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会(略称21・老福連)  
Tel:06-6770-1600 fax:06-6770-1611  
E-mail:roufuku@siren.ocn.ne.jp HP:http://www.roufukuren.jp/  
➤ お問い合わせ先 現地実行委員会事務局  
高齢者福祉施設「宮城野の里」(担当:土谷)  
Tel:022-388-8777 Fax:022-388-8778  
E-mail:c\_tsuchiya@zmkk.org

### 申込方法

別紙、名鉄観光からのご案内文書をご確認の上、「参加申込用紙」に必要事項をご記入いただき、FAXにて名鉄観光にお申込ください。

参加申込締切 9月30日(水)

申込受付後、10月上旬より名鉄観光から、参加確認書(参加券・宿泊利用券など)と請求書・振込依頼書をお送りいたします。

## テーマ

# 地域を支える福祉と私たちの役割 ～大震災から4年を経て

## 目的

東日本大震災から4年が経過しました。原発によって、いまだ故郷に戻れない人たちを含め、被災された人たちが幸福に生きる道筋をつけることが、真の復興であると考えます。福祉は、「生命の尊厳」「人間の尊厳」を理念とします。今年は戦後70年の節目の年にあたります。戦争への反省を込めて作られた憲法の下、平和な社会と豊かな福祉を目指して私たち福祉従事者は日々の援助実践を行っています。今、生命と暮らしが脅かされるということについて、福祉従事者だからこそ、敏感にとらえることが必要だと考えます。

介護保険制度導入時の理念である「介護の社会化」を根底から覆す制度改定が、今年度から実施されました。要支援に認定された160万人を介護保険から分断し、特養待機者のうち要介護1・2と認定された高齢者18万人を入居対象から外す等々、高齢者やその家族が苦悩する状況が出てきています。それぞれの高齢者の願いを確認し合い、「地域を支える私たちの役割」を、東日本大震災の被災地である仙台で、全国の皆さんと考え合いたいと思います。

## プログラム

### 1日目 11月7日(土) 全体会

12:30～	受付開始
13:15～13:30	歓迎セレモニー
13:30～13:35	開会挨拶・オリエンテーション
13:35～14:00	21・老福連からの基調報告 講師:21・老福連事務局長 正森 克也氏
14:00～15:00	記念講演 「原発と震災 福島、被災地の今」 講師:浜通り医療生活協同組合 理事長 伊東 達也 氏
15:00～15:20	休憩
15:20～17:20	記念講演 「その方の生き方を尊重する介護」 講師:特別養護老人ホーム シルバーピアかりや 早川 昌宏施設長
17:20～17:30	2日目会場説明
17:30～18:00	分科会説明

### 交流会

19:00～21:00	仙台名物「牛タン」をはじめとしたご当地グルメと、東北の地酒、それから各地持ち寄りの銘酒をお楽しみください。同じ福祉従事者として、この集会での出会いの絆を深めましょう。見て、聞いて、参加して楽しい催しを企画しています。
-------------	--

### 2日目 11月8日(日) 分科会

09:00～	受付開始
09:30～16:00	分科会・分散会

### 3日目 11月9日(月) 全体会

9:00～	受付開始
9:30～12:00	シンポジウム 「私達が目指す地域包括ケアに向けて、考えなければならないこと」 パネラー:芝田英昭氏(立教大学教授)・西岡修氏(東京・白十字ホーム)他
12:00～12:10	閉会式・次回開催地挨拶

**基調報告**

7日(土) 13:35~14:00

21・老福連 事務局長 正森 克也氏

介護保険制度が始まって15年が経過し、高齢者福祉・介護の課題が浮き彫りになっています。老老介護や認認介護、特養を利用できない介護難民、介護に疲労しきって起きる介護殺人と介護自殺、介護離職者も毎年10万人を超えています。2015年度介護保険制度改定は、「地域包括ケアシステム」の名のもとに、自助・互助・共助を強調し、「セーフティネット」の役割を社会福祉法人に押し付け、公的責任は名ばかりになるようとしています。今年4月からの介護報酬が下がったことによって、各施設・事業所が職員の処遇改善に充てるお金は厳しいものになっています。地域の中で暮らしを守る「権利としての社会福祉」を貫く私たちの仕事について、一緒に考えましょう。

**記念講演**

7日(土) 14:00~15:00

「原発と震災 福島、被災地の今」

講師：伊東達也氏（浜通り医療生活協同組合 理事長）

東日本大震災での原発事故。被災から4年経過した福島の今を、報告します。現在も11万人あまりの方が、帰宅できないでいます。故郷に帰れない方々の思いを受けとめ、国や自治体がすべきことは何なのか、私たちにできる支援について考えたいと思います。原発の再稼働の動きについても、報告いただきます。

**記念講演**

7日(土) 15:20~17:20

「その方の生き方を尊重する介護」

講師：早川昌宏氏（特別養護老人ホームシルバーピアかりや 施設長）

高齢者の多くは、何らかの疾病を持ち、「病と共に生活する」こととなります。特に急増している認知症高齢者は、現在、462万人、高齢者人口の15%（2012年厚生労働省調査）になっています。認知症になっても、最期まで「その方の生き方」を尊重する介護について学びたいと思います。早川氏は、長らく高齢者福祉・介護の現場で、認知症高齢者の援助実践に関わってこられました。早川氏の実践に即した援助実践から、多くを学びたいと思います。

**シンポジウム**

9日(月) 9:30~12:00

「私達が目指す『地域包括ケア』に向けて、考えなければならないこと」

パネラー：芝田英昭氏（立教大学）・西岡修氏（東京・白十字ホーム）他

厚生省は、「病院から地域へ」「川上から川下へ」、医療や福祉にお金をかけないでボランティアを活用した「地域包括ケアシステム」の構築を、2025年を目指して行うこととしています。私達は、地域の中での「福祉の砦」としての役割を堅持しながら、さまざまな取り組みも行ってきています。高齢者が住み慣れたまちに最期まで暮らしたいという願いを実現するために、どんなことがのぞまれるのか、一歩進めていくために、考え合いたいと思います。

	分科会名	分散会	分散会名	テーマ	座長	助言者
A	施設でその人らしい暮らしを支える	A 1	豊かな日常生活を支える	<p>その人らしい暮らしを支えることを中心に、日常生活の中での支援のあり方や個別ケアの工夫、認知症ケアの取り組み、医療と介護の連携、最期まで食べることを大切にした取り組みなど、現場での実践事例を持ち寄り学び合ひましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の「その人らしい暮らし」を支える取り組み</li> <li>・その人のQOLからつながるリハビリや外出支援などの取り組み</li> <li>・排泄ケアや入浴ケア、口腔ケアなどの工夫の実践</li> <li>・チームケア、多職種協働による実践</li> <li>・認知症高齢者が安心して生活できる為の創意工夫の実践</li> <li>・認知症高齢者の尊厳を大切にケアの取り組み</li> <li>・医療ニーズへの対応と課題</li> <li>・感染予防対策の取り組み</li> <li>・皮膚ケアの充実、褥瘡予防の取り組み</li> <li>・生活の延長にある看取りケアの実践</li> <li>・最期まで食べることを大切にした実践</li> <li>・嚥下障害や食欲不振、認知症による摂食量低下等への栄養改善の取り組み</li> <li>・調理現場における個別対応と調理の工夫</li> <li>・サービス機関との連携、地域資源の活用</li> </ul>	東京 みやま大樹の苑 施設長 稲垣 瑞恵	群馬 榛名憩いの園 施設長 大賀賀 亨
			豊かな日常生活を支える		福島 おおつき 施設支援部長 袖山 留利子	新潟 しおかぜ荘 施設長 松井 裕
			豊かな日常生活を支える		福島 おおつき 施設長 森田 たき子	山形 とかみ共生苑 施設長 横山 雄治
		A 2	認知症のケアを考える		北海道 フルーツシャトーよいち	愛知 シルバーピアかりや 施設長 早川 昌宏
			認知症のケアを考える		北海道 もなみの里	岡山 健生園 施設長 竹永 徹
		A 3	重度化した高齢者への対応（医療と介護の連携・看取り等）		熊本 たくまの里	京都 原谷ごぶしの里 施設長 介山 篤
			重度化した高齢者への対応（医療と介護の連携・看取り等）		北海道 かりぶ・あつべつ 副科長 荒木 久子	東京 すこやか福祉会
			重度化した高齢者への対応（医療と介護の連携・看取り等）		福島 はなしのぶ 相談室長 志賀 千代美	愛知 ちあき 施設長 立花 弘美
		A 4	食について考える		大阪 いのこの里 料理長 岩井 大	宮城 十符・風の音 施設長 渡辺 由美
		B	在宅生活を支える施設の役割を考える		B - 1	短期入所の取り組みを中心に
通所介護の取り組みを中心に	福島 デイサービスセンターはなしのぶ 所長 山田 正人			滋賀 あやめの里 施設長 片岡 正		
通所介護の取り組みを中心に	山形 とかみ共生苑 主任 庄司 亨			愛知 ケアハウスあき 施設長 服部 道隆		
B - 3	医療ニーズへの対応と課題			宮城 田子のまち 施設長 丸田 礼子	北海道 かりぶあつべつ 訪問看護ステーション 所長 見上 真由美	
C	有料ホーム・ケアハウス・サ高住などの多様な住まいの機能と役割を考える	C	ケアハウス・有料老人ホーム・サ高住等多様な住まいの機能と役割	<p>高齢者の住まいの普及が促進され、各地で多様な住まいが建設されています。サービス付きの高齢者住宅、有料老人ホーム（住宅型、介護付き）、グループリビングなど、これらが「老人の住まいと介護」の保障になり得るのか、また安心の住まい「終の棲家」になり得るのか、事例を持ち寄り、現状と課題を議論しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な住まいの機能と役割、運営の問題・課題</li> <li>・中重度者への対応</li> <li>・医療的ケアが必要な利用者の対応と課題</li> <li>・地域でのネットワークと連携</li> </ul>	愛知 ケアハウス すこやかの里 施設部長 森田 由美子	福岡 ケアハウス らいふ戸畑 施設長 内田 義則

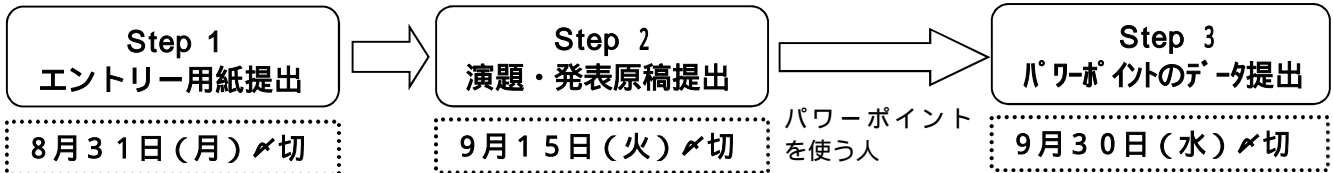


D	養護老人ホームの役割と課題を考える	D	養護老人ホーム	<p>養護老人ホームの役割と今後の運営について、現状課題や固有の問題について議論しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養護老人ホームのあり方、利用者への生活支援</li> <li>・精神疾患等のある利用者への支援</li> <li>・「外部利用型」の導入など制度転換の実態と対応</li> <li>・ショートステイの取り組み</li> <li>・自治体との連携、低所得者・社会適応困難高齢者の実態</li> </ul>	大阪 城東養護老人ホーム 副施設長 横山 道夫	岡山 岡山市会陽の里 施設長 藤岡 理恵
E	地域で暮らし続けることを支える	E - 1	在宅を支えるホームヘルプサービス	<p>(訪問介護) 度重なる制度改定に、利用者・家族の在宅生活は、大きな影響を受けています。看取り、独居の認知症高齢者を支える緊密なネットワークの構築も急務です。事例を通して、訪問介護の専門性を語り合い、問題を共有しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス提供責任者の主張...「やりがいはあるけど。何とかしてよ！この現実」</li> <li>・生活支援の専門性...「その人らしさを支え、今日も明日も生活できる」を支える</li> <li>・ヘルパーの担う「医療行為」...研修制度、事故のリスクなど考えておきたい事</li> <li>・この家で最後まで...在宅での看取りの実態</li> <li>・介護報酬改定においての訪問介護現場での影響と支援</li> </ul>	兵庫 あしや喜楽苑 施設長 田中 喜代子	茨城 ヘルパーステーションけやき 所長 早瀬 努
		E - 2	グループホームケア	<p>(グループホーム) 地域密着型サービスとして、地域の中におけるグループホームのあり方、重度化や看取りの対応等、ケアの質が問われています。グループホームならではのケアや課題を持ち寄り議論しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホームでのケアのあり方、「看取り」「家庭復帰」などの実践</li> <li>・グループホームの役割、地域の関わり、連携</li> <li>・グループホームの認知症ケアの実践</li> </ul>	宮城 くりこまの里 施設長 高橋 純	島根 ひまわり園 管理者 常陸 実
		E - 3	小規模多機能施設	<p>(小規模多機能施設) 住み慣れた地域で暮らし続けるために「通い」「訪問」「泊まり」のサービスとして、創設されましたが、報酬上での問題や小規模多機能としての役割など、メリットとともに多くの問題が浮かび上がっています。在宅生活を支える取り組みや課題について、実践事例を通して議論しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模多機能施設の役割と地域との連携</li> <li>・認知症になっても地域で暮らせるための施設の役割</li> <li>・医療的ケアが必要な利用者の対応と課題</li> </ul>	E 3	島根 やくものお家 管理者 石橋 美奈子
		E - 4	地域づくり、コミュニティケア・在宅介護で困難(重度化等)な事例の対応	<p>(在宅介護支援・地域包括支援・在宅介護支援センター・特養相談部門) 高齢者は、地域で暮らし続ける中で、たくさんの生活問題を抱えます。安心して暮らすことができる地域づくり、コミュニティケアについて、また市町村独自の制度など、その人らしい生活が支援できる地域包括ケアの姿について、実践例や課題を持ち寄り議論しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケアの新たな役割と課題</li> <li>・権利擁護について(虐待防止・早期発見・成年後見制度の活動報告)</li> <li>・事業所の運営とケアマネージャーの「質の向上」への取り組みについて</li> <li>・多問題家族や一人暮らし、老老介護など困難事例への取り組み</li> <li>・障害のある家族支援の取り組み</li> </ul>	兵庫 喜楽苑 施設長 小林 浩司	福島 おおつき

F	安心・安全な生活を考える	F	安心・安全な生活	<p>日常生活の中には多くのリスクが存在します。リスクへの対応をどのように据えるかで、利用者の生活の有り様が変わることがあります。事故予防の取り組みや体制づくり、研修や学習活動など各施設の実践を持ち寄り議論しましょう。東日本大震災を教訓に、明らかになった課題について考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発生した事故から学んだこと、再発防止、改善の工夫</li> <li>・身体拘束防止、虐待防止の取り組みと課題</li> <li>・オンブズマンや第三者機関活動の実例</li> <li>・その人らしさ、自由、プライバシーを守るケアの実践</li> <li>・事故防止の取り組みや体制、家族との連携・信頼関係づくり</li> <li>・事故対応のマニュアルとその活かし方（ヒヤリ・ハットの活用）</li> <li>・高齢者の生活とリスクマネジメントについて</li> <li>・震災の教訓から防災計画等に活かしたこと</li> </ul>	宮城 田子のまち 介護課長 高橋 純子	福岡 いきいき八田
G	誇りと自信を持ち働きがい、やりがいのある職場づくりを考える	G	職場づくり	<p>職場が誇りと自信を持って元気に働くことは、職場の大きな目標です。そのような職場づくりをどのように進めるか、取り組みの事例などを持ち寄り、課題や問題解決のヒントを考えましょう。新しい8Kが実現できる職場づくりについて話し合しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織の活性化につながる取り組み</li> <li>・自身の考えや意見を本音でぶつけ合い、職場の問題に取り組んだ事例</li> <li>・職場のストレスマネジメントやメンタルヘルスについて</li> <li>・管理職や上司、他職種とのコミュニケーションについて</li> <li>・研修制度、職員育成の工夫や悩みなど</li> <li>・チームワークや協力・連携への課題など</li> <li>・8K（希望・輝き・絆・きづき・きらめき・感謝・感激・感動）を感じた瞬間</li> <li>・介護キャリア段位制度がもたらすこと</li> </ul>	大阪 さくら苑 苑長 中村 公三	山形 山形虹の会 事務局長 井田 智
			職場づくり		福島 わたり福祉会 ケアワーカー長 東条 悠一郎	京都 ライブリー きぬかけ 事務局長 藤田 隼平
H	福祉施設における事務の役割を考える	H	事務の役割を考える	<p>事業の多様化、制度改定、厳しい経営環境のなか、「実務の要」としての役割がますます重要になっています。また、行政や地域との関係づくりの上でもその能力を求められています。事務部門の役割について議論を深めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉施設における事務部門の役割、他部門との連携の工夫</li> <li>・事務、経理、総務事務の効率化、経営データの活用</li> <li>・事務部門からみた介護保険制度の問題</li> <li>・施設の民主的運営の課題、各種委員会の事務局など運営への参加</li> <li>・全職員参加の運営、処遇改善に向けた取り組みなど</li> <li>・情報管理の工夫</li> <li>・守秘義務と情報公開の課題</li> </ul>	福島 わたり福祉会 常務理事 板橋 修	千葉 やわら木苑 総施設長 伊藤 裕之
I	家族介護者を支える	I	家族の介護者を支える	<p>介護保険は「介護の社会化」をうたっていましたが、依然として家族介護に頼る実状があります。在宅介護と施設介護の費用や介護負担の違いなど課題は山積していることに加え、在宅介護の4人に1人はうつ傾向が見られる、心身の疲労を抱えているなどの報告もあり、介護者支援は重要課題と言えます。利用者を支えるために、利用者ご本人のみならず家族等の介護者を対象とした援助技術や支援体制、介護者同士の支援等ネットワークの構築、地域のインフォーマルな共同組織などの取り組みや課題を持ち寄り考えていきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族活動の現状と課題</li> <li>・家族とのケアパートナーシップ</li> <li>・家族等介護者への支援と課題</li> <li>・介護者のネットワークづくりの現状と課題</li> <li>・地域のインフォーマルな共同組織活動</li> <li>・家族介護の家族の本音とその支援</li> </ul>	石川 なんぶやすらぎ ホーム 施設長 坂口 朋美	東京 白十字ホーム 施設長 西岡 修

## ～分科会演題募集～

職員研究交流集会の分科会には毎年 100 本を超えるレポートが提出され、有意義な実践交流が図られます。日々一生懸命、高齢者に寄り添いながら、ゆたかな援助実践を積み重ねている全国の皆さん、日頃の地道な実践を宮城に持ち寄り、ともに学び、ともに育ちあいませんか？ぜひ、分科会一覧表（P 4～6）をご参照の上、発表をご検討下さい。発表いただける方は、「演題募集エントリー」用紙（P 8）に必要事項をご記入の上、8月31日（月）までに下記の提出先まで FAX にてお送り下さい。



### ～演題・発表原稿の提出について～

当日配布の資料に掲載する原稿を下記のとおりご提出頂くようお願い申し上げます。なお、パワーポイント使用をされる場合には「パワーポイントを用いての発表についてのお願い」（P 9）をご参照下さい。パワーポイント等の使用については、エントリーの時点で申し出があったものしか認められません。

発表原稿様式

演題抄録用紙（A 4用紙1枚）にまとめてください《厳守》

**【原稿作成時】** ソフトはWORDを使用。「21・老福連第15回職員研究交流集会 演題抄録用紙（みほん）」（21・老福連 HP 第15回職員研究交流集会 開催要綱のページに掲載）を参照下さい。

レポートの末尾に、**発表者施設の連絡先（問い合わせ先）**を記入してください。

WORD ファイル名：【[分散会][県名][施設名][氏名]】（例）A - 2 宮城 宮城野の里 松島 太郎

**【原稿送信時】** 下記「原稿提出先」の宛先を参照し、E-mail にWORD ファイルを添付して送信して下さい。その際、件名にはWORD ファイル名同様、【[分科会][県名][施設名][氏名]】を明記して下さい。

**【その他】** 発表方法は資料集に掲載されたレジュメ等に基づいてお願いします。発表にあたって、利用者等の個人情報の取扱いについては、事業所の個人情報保護規定に従い、適正な対応をお願い致します。研究交流集會に参加できない方々とも実践交流を図る趣旨で、研究・実践報告（発表）された内容を「ゆたかなくらし」誌の21・老福連のページに掲載することもございますのでご承知下さい。

発表時間 1 演題につき 10～20分程度（各分科会の演題数によって異なるためあくまで目安）

原稿締切 9月15日（火）必着

原稿提出先 E-mail にてWORD ファイルを添付の上、下記へお送りください。  
E-mail : [mail@tokami.org](mailto:mail@tokami.org)





## ～PowerPoint を用いての発表についてのお願い～

### 1. 使用機材について

発表に使用する機材はパソコン・プロジェクターとします。パソコン・プロジェクターおよび接続用ケーブルは主催者側で準備致します。(なお、「発表演題募集」応募の際、ノートパソコン持参可とお答えいただいた方には、事務局から個々にお問い合わせする場合がありますのでご了解ください)

### 2. データの事前提出について

あらかじめ、発表データを下記住所に送付いただくこととします。提出はCD-Rにてお願い致します(メール添付はご遠慮ください)。なお、提出の際にはパワーポイントのバージョンを必ずご明記下さい。パワーポイント以外のソフトを使用する際にも必ずソフト名をご明記下さい。また、動画の使用は不可です。CD-Rと一緒に、プリントアウトをした紙ベース資料を同封して下さい。

また作成の際には、MS明朝、MSゴシック等Windows付属の標準フォントで、写真等を用いる場合は、Windowsアクセサリのペイント等で表示される実寸サイズにあらかじめ小さくしたものをご使用いただきますようお願いいたします。

### 3. 発表について

発表時は、各分科会で使用するパソコンのデスクトップにパワーポイントのファイルをコピーしておきませんが、操作は各自で責任を持って行って下さい。予め動作確認などは主催者側で実施し、トラブルのないように努めますが、基本的には各自で対応して頂く事となります。ご不明な点がございましたら、下記にご連絡をお願い致します。

### 4. 提出期限

**9月30日(水) 必着**

### 5. 提出先

特別養護老人ホームかけはし(担当:高橋)

〒997-0361 山形県鶴岡市民田字代家田99番1号

TEL 0235-25-1131

## ～各期日を守ってご提出下さい～

運営にご協力お願いします(.\_.)

「演題募集のエントリー」〆切は、8月31日(月)です。

エントリー用紙に必要事項をご記入いただき、特別養護老人ホームとかみ共生苑(担当:片桐)までFAXで送信願います。 FAX 023-646-5051

「発表原稿」の提出〆切は、9月15日(火)です。

E-mailにてWordファイルを添付の上、特別養護老人ホームとかみ共生苑(担当:片桐)までお送り下さい。  
E-mail: [mail@tokami.org](mailto:mail@tokami.org)

「PowerPointデータ」の提出〆切は、9月30日(水)です。

データをCD-Rにコピーの上、特別養護老人ホームかけはし(担当:高橋)までお送り下さい。

送付先: 〒997-0361 山形県鶴岡市民田字代家田99番1号

21・老福連 第15回 職員研究交流集会in宮城

第1号

# たんたん



今年もやります職員研究交流集会  
開催地は……杜の都、仙台！



## 実行委員長あいさつ

2015年は大幅介護報酬のマイナス、介護保険法の改定があり、その内容に愕然とし、対応に追われていくと思います。真剣に福祉に取り組んできた中でこのような形で、ご利用者、提供する事業者ともに大きく影響を受け、介護保険制度や日本の社会保障制度は大丈夫なのかと危惧されているのではないかと思います。社会保障・福祉が危ない状況の中、その事業の前提となる平和の課題も重要な課題のひとつです。憲法を暮らしに生かす、権利としての福祉の充実を求めたいと思います。

3. 11 東日本震災では、全国の多くの皆様の、物資の支援や職員の派遣をいただき、大変お世話になりました。本当に感謝と御礼を申し上げます。



実行委員会では現在、被災地福島からの報告や現場で活用できる講演などの準備を進めております。

様々な課題や困難がある中で、現場からの実践報告と交流で、学びえあう、実り多い3日間になりたいと考えております。

たくさんの皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

実行委員長：海和 陸樹（社会福祉法人宮城厚生福祉会 法人事務局長）

「21・老福連」って何？

正式名称は「21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」です。全国の老人ホームの施設長有志の呼びかけで2001年に設立しました。本音で語り合い、お互いの経験を真摯に交流し合っている場を作り上げ、豊かな援助実践と公的福祉の確立を目指しています。



「職員研究交流集会」って何？

毎年、全国で働く仲間が一同に会い、実践報告、研究発表等を行うものです。共に学び、悩み、語り、励まし合う学びの場であり、高齢者主体の援助実践、ケアの質、暮らしの内容を豊かにするためのものです。昨年の島根大会では、全国から392名の参加があり、分科会では109演題の実践報告がありました。

## 島根大会('14)に参加した方々の声

他県の人と情報交換ができ、励まされたし勇気をもらった。

他施設での取り組みを知り、学ぶことがたくさんあった。

交流会がとても楽しかった！各地元のお酒や特産物を持ち寄ってくださり、ものすごくお徳を感じた。



記念講演を聞いて、介護と平和は切り離せないこと、憲法から考えることの大切さに気付いた。

活気があり、みんながいい介護をしたいという思いを持っていることが伝わってきた。

新人さんもベテランさんも、ご参加をお待ちしています！

## 第15回 職員研究交流集会

期間 2015年11月7日(土)～11月9日(月)

開催地 宮城県仙台市

テーマ 「地域を支える福祉と私たちの役割

～大震災から4年を経て～

介護保険制度改定により、私たちを取り巻く状況は変化しています。「利用制限」、「負担増」、「事業所の減収」…。そんな中でも私たちは、高齢者の生活を守っていかなければなりません。地域包括ケアが叫ばれる今、私たちの役割とは？東日本大震災から4年。改めて感じる地域で暮らすことの喜び、命の尊さ、福祉の必要性を、今もう一度、東北の地で考えたいと思います。

## マスコットキャラクター決定！



「たんたん」です！

仙台と言えば牛タン！

仙台と言えば伊達政宗（独眼竜）！

由来は単純ですが、どうぞよろしくお願ひします☆



振り向くたんたん

立ってるたんたん



## 4年越しの思いを込めて

2011年10月、第11回職員研究交流集会是宮城県仙台市で開催される予定でした。

しかし、同年3月11日の東日本大震災による甚大な被害から、宮城県での開催は困難となり、急遽山形に会場を移すことになったのです。東北地区のみならず、関東、関西地区からのたくさんの協力のおかげで、第11回大会は活気あふれる有意義な大会となりました。

### 第11回大会(‘11)実行委員長からひとこと

4年前、第11回職員研究交流集会的準備を進めていた矢先、東日本大震災が起きました。余震にふるえていた3日目の夜に、山形とかみ共生苑の横山施設長さんたちが、ワゴン車いっぱいの支援物資を届けてくれた、その時の感激を今も忘れません。職員研究交流集会是、地元山形の奮闘はもとより、関東をはじめ全国からの温かな激励の下、天童にて無事終了しました。あれから4年が過ぎました。被災地では、高齢者をはじめ困難を抱えた方々、特に福島では原発での被災者への支援がまだ残されたままになっています。東日本大震災では、15,891名が亡くなり、現在も2,579名の方が行方不明になっています。逝ってしまった人たちのためにも、今残された被災者が幸福に生きることこそが望まれています。困難を抱えた人たちの生命と生活を保障するのが、社会保障・福祉であるはずですが、

何やらき臭い時勢の今だからこそ、被災地から生命の尊さや人間としての尊厳をもって生きる意味を考えたいと思います。皆様のお越しをお待ち申し上げます。

第11回大会実行委員長：21・老福連 代表幹事 小野ともみ  
(社会福祉法人宮城厚生福祉会 高齢者福祉施設「宮城野の里」前施設長)



## 私達が実行委員です



今年は東北・北海道ブロックが実行委員を担当します。(北海道、山形、宮城、福島から集まっています。)全国各地から参加される皆さんにとって、発見の多い実りある大会になるように頑張ります！

21・老福連第15回職員研究交流集會実行委員会  
【事務局】社会福祉法人 宮城厚生福祉会 高齢者福祉施設 宮城野の里 担当:土谷  
TEL:022-388-8777 FAX:022-388-8778



## 宮城県と言ったらコレ☆



### 松島

日本三景の一つ、松島。260余りの島々があり、伊達政宗の瑞巖寺、五堂堂など様々な寺院が建っています。

1年を通して松島湾観光遊覧船でのクルージングを楽しむことができます。「奥の細道」の冒頭で「日本で1番の景色」と詠われていることでも有名です。

### 牛タン

牛タン焼きは仙台が発祥の地とされています。昭和23年に仙台で初めてとなる牛タン焼き専門店を開いたとされる「味太助」は、8店の分店を持ち、今も人気店として営業しています。

その他にも、仙台で牛タンを食べられる店は他にも多数。ぜひご賞味ください！



### 仙台城(青葉城)跡

仙台城は初代仙台藩主伊達政宗が1610年に築城しました。現在、当時の建物は残っていませんが、長い歴史が刻まれた石垣が当時を偲ばせます。伊達政宗騎馬像が建つ天守台は眺めがよく、仙台市内を一望するビュースポットとして人気があります。

### 楽天イーグルス

2004年に設立。仙台市宮城野区にある楽天スタジアム宮城を本拠地としています。2013年、星野仙一監督時代にパリーグ優勝、日本シリーズ優勝を果たしました。2011年4月、大震災直後の復興支援のための慈善試合で鳴選手が言った「見せましよう野球の底力を」という言葉は東北のファンを励ました。



### 仙台七夕まつり

伊達政宗公の時代から続く、伝統行事。毎年8月6日から8日に催されています。アーケード街にずらりと並ぶ豪華絢爛な七夕飾りが見物です。花火祭りやコンサートなども市内各地で行われ、毎年200万人超の来場者で賑わいます。

### 光のページェント

仙台市中心部の定禅寺通りと青葉通りのケヤキ並木に数十万に上るLEDを取付けて点灯するイルミネーションイベントです。毎年12月中旬から12月末にかけて開かれ、昨年で29回目となりました。



## 21・老福連 第15回職員研究交流集会 in 宮城～参加・宿泊等のご案内～

### 【1】お申込方法のご案内

参加者は申込書に必要事項を記入の上、9月30日(水)までに名鉄観光へFAX又は郵送にてお申込ください。電話による申込はトラブルの原因となりますのでご遠慮ください。

**お申込締切日：2015年9月30日(水)厳守願います**

お申込受付後、10月上旬に名鉄観光より参加確認書(参加券、宿泊案内など)と請求書・振込依頼書をお送りします。

請求書をご確認の上、10月23日(金)までに指定の振込口座へお振込みください。振込み手数料については、お客様ご負担とさせていただきます。

### 【2】21・老福連職員研究交流集会 参加費のご案内

参加期間	1日間	2日間	3日間
金額	7,000円	9,000円	10,000円

### 【3】宿泊のご案内 (募集型企画旅行契約)

この旅行は、名鉄観光サービス(株)山形営業所が企画・実施する旅行であり、この旅行に申込みされるお客様は、当社と募集型企画旅行契約を締結することとなります。詳しい旅行条件を説明した書面をお渡します。事前にご確認の上お申込みください。ホームページ([http://www.mwt.co.jp/info/joken\\_jpn.pdf](http://www.mwt.co.jp/info/joken_jpn.pdf))又は店舗にて確認ください。

宿泊設定日:11月7日(土)11月8日(日) 旅行代金:1泊朝食(税・サ込) 最小催行人員:1名 添乗員:同行しません

記号	宿泊施設名	部屋タイプ	料金(お一人様)	集会場からのアクセス
1	ホテルモントレ仙台	A シングル	13,000円	徒歩5分
		B ツイン	10,500円	
2	ホテルモンテエルマーナ	A シングル	9,300円	徒歩1分
3	ホテルユニサイト仙台	A シングル	8,600円	徒歩5分
		B ツイン	6,000円	
4	ホテルレオパレス仙台	A シングル	9,500円	徒歩10分
		B ツイン	8,000円	
5	メルパルク仙台	A シングル	8,300円	徒歩15分
		B ツイン	8,300円	
6	ダイワロイネットホテル	A シングル	11,000円	徒歩5分
7	ホテルJALシティ仙台	A シングル	13,000円	徒歩1分
8	ホテルプレミアムグリーンプラス	A シングル	9,000円	徒歩3分
9	ホテルグリーンマーク	A シングル	8,500円	徒歩10分
10	ホテルグリーンパシフィック	A シングル	8,500円	徒歩3分
11	ホテルグリーンセレクト	A シングル	8,300円	徒歩10分

同室希望者の方は、参加申込書該当欄にご記入ください。

宿泊申込の場合(上記記号 客室タイプ番号)ご記入ください。(例 モントレ仙台シングル希望の場合:1-A)

ホテルは先着順です。第一希望・第二希望とも満室の場合、表記以外のホテルも案内させていただきます。

#### 【4】交流会のご案内

期日：平成27年11月7日(土) 時間：19時00分～  
会場：メルパルク仙台  
交流会費：9,000円

#### 【5】お弁当のご案内

希望販売にて注文をうけたまわります。ご希望の方は、申込書にご記入ください。  
弁当配布日：11月8日(日) 昼食(お弁当) お1人1,000円

#### 【6】変更・取消についてのご案内

お客様のご都合で予約を取消された場合、下記の取消料が必要となります。変更・取消の場合は、必ずFAX又は郵送でご連絡ください。  
また、変更・取消後の返金については、本会終了後速やかに行ないますので予めご了承ください。

取消日	参加費	宿泊取消料	弁当取消料	懇親会取消料
申込後	100%	無料	無料	無料
21日目にあたる日以前の解除	100%	無料	無料	無料
20日目にあたる日以降の解除	100%	20%	無料	20%
7日目にあたる日以降の解除	100%	30%	無料	30%
旅行開始日前日の解除	100%	40%	100%	40%
旅行開始日の当日の解除	100%	50%	100%	50%
旅行開始後の解除又は無連絡不参加	100%	100%	100%	100%

上記取消料ならびに郵送料の実費を差し引いて、大会終了後に精算致します。  
変更・取消などによるご精算は、大会終了後に指定の口座へお振込致します。  
(事務手続き上、多少お時間を頂戴しますので、予めご了承下さい。)  
大会当日のご返金は事務手続き上できません。

#### 【7】参加申込み・宿泊・交流会・弁当手配等についてお問い合わせ先

観光庁長官登録旅行業第55号 日本旅行業協会正会員  
〒990-0031

山形県山形市十日町1丁目3番29号(山形殖銀日生ビル5階)

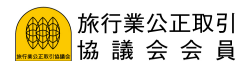
(旅行企画・実施)

名鉄観光サービス株式会社 山形営業所 『21・老福連 第15回職員研究交流集会』係

担当：小山(こやま)、熊谷(くまがい)、石垣(いしがき)

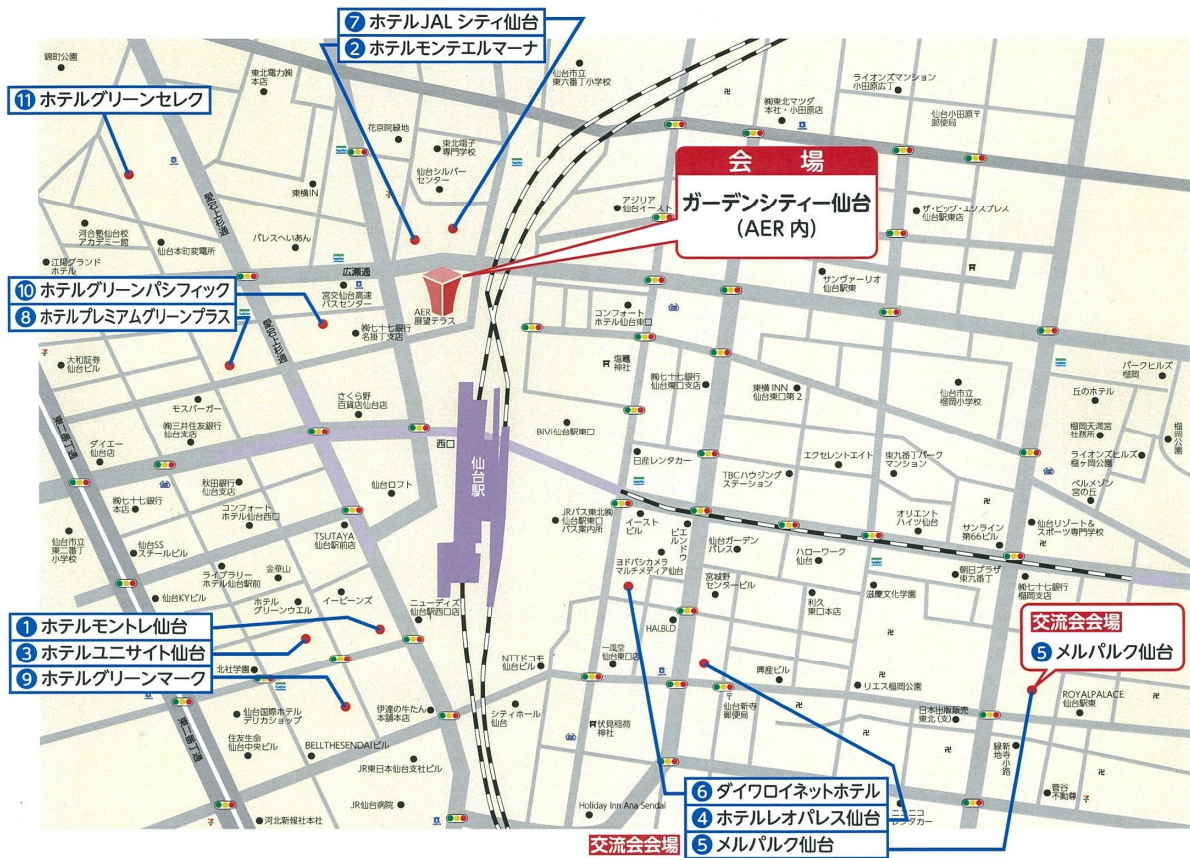
TEL:023-664-0909 FAX:023-664-0912

営業時間：月～金曜日 9:00～18:00、土・日・祝日休み





## 地図 各会場と宿泊施設のご案内



### 会場までのご案内

**集会会場 【TKPガーデンシティ仙台】 : 022-714-8101**

- 仙台駅2F西口(ペデストリアンデッキ)より徒歩2分
- 地下鉄南北線「広瀬通」より徒歩5分
- 駐車場: 契約駐車場はございません



**交流会会場 【ホテルメルパルク仙台】 : 022-792-8111**

- 仙台駅東口2番出口より徒歩10分
- JR仙石線榴ヶ岡駅2番出口より徒歩3分
- 駐車場 : 地下駐車場 130台  
 駐車料金: 宿泊800円

## 『21・老福連 第15回職員研究交流集会』参加申込書

送信先

名鉄観光サービス(株)山形営業所 担当：小山・熊谷・石垣行 FAX：023-664-0912

申込日：平成27年 月 日

県名	県	施設名	
住所	〒 -	担当者氏名	電話 ( ) - FAX ( ) -

No	フリガナ	性別	職名	参加費			交流会 11/7 (土) 9,000円	宿泊希望日			弁当 11/8 (日) 1,000円	分科会 11/8(日) 座長・記録・助言者・発表者の方は役割の欄にご記入ください。			備考 (ツイン同泊者、禁煙・喫煙等)	名簿への氏名記載の可否 記入漏れの場合可能と判断させていただきます。
	参加者氏名			11/7 (土)	11/8 (日)	11/9 (月)		ホテル希望	11/7 (土)	11/8 (日)		第1希望	第2希望	役割		
例	センダイ タロウ	男	施設長					第1希望	1-B	1-B		A-2	A-3	座長	宮城 一郎	×
	仙台 太郎						第2希望	1-A	1-A						禁煙・喫煙	
1								第1希望								禁煙・喫煙
							第2希望									
2								第1希望								禁煙・喫煙
							第2希望									
3								第1希望								禁煙・喫煙
							第2希望									
4								第1希望								禁煙・喫煙
							第2希望									
お申込金額計算欄		参加費計		交流会費計		宿泊費 第1希望 基準	11/7泊計		11/8泊計		弁当代計		総合計			円

<注意事項> ツインルームご希望の場合は必ず同室者名をご記入ください。 郵送の場合は必ず控えをおとりください。 4名以上の場合はコピーをしてお使いください。

<返金先口座記入欄> (返金の際、手数料は差し引いて下記口座にて清算いたします。口座名義はカタカナにて記入下さい。)

申込締切：9月30日(水)

金融機関名	銀行	支店名	支店	口座番号	普通・当座	口座名義
-------	----	-----	----	------	-------	------

当申込書に記載された個人情報は、運営管理の目的のみのために使用いたします。

<弊社使用覧>

上記、受領いたしました。

手話通訳・要約筆記が必要な場合は「現地実行委員会事務局」までご連絡を御願いたします。

月 日 受付者